

編 集 後 記

2011 年度の支部だより（北海道）の窓口を担当しました。関係各位にご協力頂き、2011 年度全ての「雪氷」に北海道支部の話題を提供することができました。誌面をお借りして御礼申し上げます。

雪氷分野は、近年の「雪氷楽会」に代表されるように、雪の結晶のように見える「楽」という字が似合っていると思います。それは、雪や氷がきれいなだけでなく、様々な分野と関連を持っており、継続することで独自の結晶を形成できるところにあるからだと考えます。また、雪はどの色の光も同じように反射するため、白く見えると言われています。これを「雪氷」に当てはめると、様々な分野の投稿があって、白く輝く結晶になるといったところでしょうか。

5 月は、山岳域の本格的な雪解けのシーズンです。雪形ともそろそろ別れを告げるこの時期になると、キャンディーズの「春一番」という歌を口ずさむことがあります。“雪が解けて川

になって流れていきます～” という（私の心の中では）有名なフレーズの他、“ひとつ大人になって忘れませんか？”という歌詞が好きです。普段の生活では大人になりきれない私ですが、雪氷とその関わる分野では“大人になることを忘れて”無心に取り組めば、新たな発見や知見がうまれるだろうと考えています。

今冬期は多雪かつ寒冷で、国内のいろいろな地域で様々な影響がありました。雪氷分野に関わる身として、よりよい社会となるには今後何をすべきか自問自答しています。私自身の答えは、まだまだ遠くにあるようです。これからも雪氷学会や「雪氷」で勉強させて頂き、少しでも白く輝けるよう、また独自の結晶を創造できるよう精進したいと思います。多くの方々と、「雪氷」の誌面でお会いできれば幸いです。今後とも、よろしくお願いいたします。

（原田裕介）